

# 増田先生のお悩み相談室

今回は質問のお八ガキから、「子どもに習い事をさせた方がよいのか?」「小さい時にどんな勉強をさせたらいいかな?」の質問が多かったので、それについてお答えします。

## 【乳幼児期の子育てが子どもの将来を左右する】

習い事を通して、子どもに色々な事を経験させたいと思うのは、親の共通した想いでしょう。今回は子どもへの投資が、その後の子どもに、どのような効果を生むか考えてみましょう。

### 乳幼児期の教育や保育が大切

2000年にノーベル賞をもらったアメリカの経済学者でジエームズ・J・ヘックマンという博士がいます。その先生は、子どもに対する教育投資効果について興味ある論文を書き、大きな反響を引き起こしました。

子どもへの投資効果を経済的な面からみた場合、乳幼児期の子育て内容と保育の質が最も大きな効果を生むと述べています。具体的には、小学校入学時点で理解力が良かった子どもほど、18歳になった時の知的到達度が高いことが分かりました。さらに長期的な視点からみた時、乳幼児期に受けた教育や保育の質が良かったグループは、そうでなかったグループに比べて40歳時点の経済状態や幸福度が良かったことも明らかにしました。

また、人生で成功するかどうかは学力テストやIQテストなど知的な面だけで決まるのではなく、体や心の健康と社会的性、根気強さ、共感性、意欲や自信といった社会的・情緒的性質も重要であると言っています。

### 愛情をたっぷりほやかせよう

昔から「生まれか育ち」かの議論がありますが、どちらかが子どもの将来を決めるという考え方は時代遅れになってきており、最近では遺伝子と環境の相互作用が子どもの発達を決める

と言われています。

親からももらった遺伝子は子どものものでどうすることもできませんが、環境は親の努力で変えられます。両親の愛情と関わりが豊富な環境で育つ子どもは、基本的信頼感が育ち、安心して知的探索行動をとります。また他の子どもと遊んだり、抵抗を持たずに集団に馴染むようになり、いくらか親から高いIQを受け継いでも、不安や感情のコントロールができないなど精神的脆弱性を持つていたら、その能力を十分に発揮することは難しくなります。

両親が安定した家庭生活を営んでいる子どもは、その恩恵が十分に受けられ知的能力や精神的安定性にプラスの効果をもたらすのです。



### 公的機関など関係機関で子育てにいい環境は作れます

ここで、注意していただきたいのは、家庭の事情によって子どもにもいい環境を提供できない場合は、公的機関による教育プランや福祉サービスを受けることで、十分に補う事が可能であるということです。

子どもの将来にとって、乳幼児期に受ける親の愛情と子育ての質が、一生の宝になります。

最後に、興味のある方はヘックマン博士の著書「幼児教育の経済学」(東洋館出版)を参考にしてください。



心療内科 増田クリニック  
増田 彰則 医師

鹿児島市・増田クリニック院長。さつま町出身。内科学、心療内科を専攻。中でも疲労、痛み、うつ病、不登校、小児心身症、神経症などが専門である。

ネット・ゲーム依存症の家族会 …毎週第4水曜日/参加料1回500円  
月1回の、ネット・ゲーム依存の子どもをかかえた親の会です。  
依存についての知識と対応の仕方を学びます。参加希望の方はお電話ください。



## 増田クリニック

TEL. 099-219-1155  
〒892-0845 鹿児島県鹿児島市樋之口町2-24

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	○
14:30~18:30	○	○	○	○	○	○	○

受付時間：午前 8:30~12:30  
午後 14:00~18:00  
休診：水・日・祝・お盆・正月

お引越しました!